

# 平成24年度 保健福祉局運営方針

～「いのち」を「はぐくみ」、「くらし」を守り、地域との「絆」で  
一人ひとりがつながった「安心・安全」を実感できるまちの実現  
を目指し、市民の皆様とともに保健福祉施策の「改革と創造」に  
取り組めます。～

## はじめに ～運営方針の策定に当たり、保健福祉局長から市民の皆様へ～

国・地方を問わず厳しい財政状況が続く中、京都市においては、平成23年度から10年間の都市経営の基本となる「はばたけ未来へ！京プラン」（京都市基本計画）に掲げた未来へのシナリオの具体化を図るため、平成24年3月に「はばたけ未来へ！京プラン 実施計画」を策定し、計画に掲げた各種施策の実施に取り組んでいくことといたしました。

こうした中、「平成24年度保健福祉局運営方針」では、「はばたけ未来へ！京プラン 実施計画」に基づき、平成24年度の保健福祉施策の推進を図るに当たっての基本方針と6つの重点方針を以下のとおり定めるとともに、市民の皆様の多様化する保健福祉ニーズにお応えすべく、新たにに取り組む事業等のうち、主なものをご紹介します。

平成24年度、保健福祉局では、保健・医療・福祉の連携のもと、これまでの事業の充実に加え、東日本大震災の教訓を踏まえ、地域との「絆」を基軸とする災害対策等、新たな事業に取り組むなど、保健福祉施策の更なる推進を図って参ります。

今後、この運営方針に基づき、職員一人ひとりが、市民生活の最前線に立って市民の皆様のいのちと暮らしを守るという責務をしっかりと認識し、全力で取り組んでまいります。

平成24年4月

京都市保健福祉局長 高木 博司

### 平成24年度保健福祉局基本方針

「いのち」を「はぐくみ」、「くらし」を守り、地域との「絆」で一人ひとりがつながった「安心・安全」を実感できるまちの実現を目指し、市民の皆様とともに保健福祉施策の「改革と創造」に取り組めます。

### 重 点 方 針

- 1 **「いのち」**  
すべての市民の皆様のかけがえのない「いのち」を守ります。
- 2 **「はぐくみ」**  
「子どもを共に育む京都市民憲章」の理念が息づいた、子どもを安心して生み、楽しく育てることができるまちづくりを進めます。
- 3 **「くらし」**  
子どもから高齢の方まで、障害のある方もない方も、いきいきと暮らすことができる社会をつくりまします。
- 4 **「絆」**  
地域で守り、地域で支える保健・医療・福祉施策を推進します。
- 5 **「安心・安全」**  
いのちとくらしを守るセーフティ・ネットをしっかりと構築します。
- 6 **「改革と創造」**  
将来にわたって必要なサービスが安定的に提供されるよう、参加と協働により新しい保健福祉の在り方を追求します。

## I 平成24年度保健福祉局予算概要

平成24年度の保健福祉局では、市予算（一般会計）全体の39.2%を占める2,892億71百万円をお預かりしています。前年度比では0.9%（人件費を除くと1.0%）のマイナスとなりましたが、主な要因である子ども手当の給付費減等の影響を除けば、実質約44億円の増額予算となっています。

（単位：百万円）

	23年度	24年度	増減	伸び率
市全体	746,475	738,112	△8,363	△1.1%
保健福祉局 (人件費除く)	292,013 (269,245)	289,271 (266,548)	△2,742 (△2,697)	△0.9% (△1.0%)

また、母子寡婦福祉資金貸付、国民健康保険、介護保険、後期高齢者医療及び市立病院事業債の各特別会計を所管し、適切かつ的確な事業運営を図っています。

（単位：百万円）

	23年度	24年度	増減	伸び率
母子寡婦福祉資金貸付	530	522	△8	△1.5%
国民健康保険	142,277	146,758	+4,481	+3.1%
介護保険	101,231	108,513	+7,282	+7.2%
後期高齢者医療	15,411	16,294	+883	+5.7%
市立病院機構病院事業債	4,866	8,018	+3,152	+64.8%

## II 平成24年度の主な取組

保健福祉局では、現在、400を超える事務事業等を実施しています。

ここでは、新規事業等を中心に、平成24年度の主な取組を重点方針（1～6）ごとに御紹介します。

### 1 「いのち」～すべての市民の皆様のかげがえのない「いのち」を守ります。～

- (1) **障害者虐待防止対策事業（新規）【障害保健福祉推進室】**〔予算額6,600千円〕  
「障害者の虐待の防止，障害者の養護者に対する支援等に関する法律」の施行（24年10月）に伴い、障害者に対する虐待の防止，早期発見，早期対応のため，支援体制の構築，市民への啓発活動を実施します。
- (2) **第二児童福祉センター運営（新規）【児童福祉センター】**〔予算額53,000千円〕  
平成24年4月に、児童相談所及び診療所機能等を備えた「第二児童福祉センター（南区及び伏見区所管）」を設置し、児童虐待に対する迅速かつ適切な対応を行うための体制の強化や，発達障害等の障害のある児童に対する支援の充実を図ります。



第二児童福祉センター外観

(3) **前立腺がん検診費用の一部公費負担（新規）【保健医療課】**〔予算額 54,200 千円〕  
50歳以上の男性を対象に、本市独自に前立腺がん検診費用の一部公費負担を実施します。

(4) **成人用肺炎球菌ワクチン接種費用の一部公費負担（新規）【保健医療課】**  
〔予算額 33,600 千円〕  
75歳以上の高齢者で、心臓や腎臓等の内部疾患による障害者手帳1～4級の交付を受けておられる方に対し、ワクチン接種費用の一部公費負担を実施します。

(5) **動物愛護センター（仮称）整備事業（新規）【保健医療課】**〔予算額 37,600 千円〕  
平成23年12月に策定した「京都市動物愛護センター（仮称）構想」に基づき、夜間動物救急診療所機能を併設したセンターをドッグラン等の付帯設備と併せて上鳥羽公園内に整備するため、基本・実施設計を行います。



(6) **地方独立行政法人京都市立病院機構への運営費交付金（継続）【医務審査課】**

〔予算額 2,015,000 千円〕

感染症医療や救急医療等、不採算であっても市民生活に不可欠な政策医療が安定的、継続的に提供できるよう、必要な費用を地方独立行政法人京都市立病院機構に交付し、市長が法人に指示する「中期目標」や法人が策定する「中期計画」等に基づき、引き続き法人と本市との緊密な連携のもと、市民の皆様のいのちを守る医療の提供を進めてまいります。



京都市立病院 新館完成予想図

**2 「はぐくみ」～「子どもと共に育む京都市民憲章」の理念が息づいた、子どもを安心して生み、楽しく育てることができるまちづくりを進めます。～**

(1) **保育所整備及び整備助成事業（新規）【児童家庭課・保育課】**

〔予算額 372,400 千円〕

保育所の新設及び分園の設置や既存保育所の増改築を行い、定員及び入所児童数の拡大を図るとともに、老朽施設の耐震化等の改築を行います。

<民設>

区分	行政区	施設名	定員（人）
新設	下京	池坊保育園（仮称）	60
増築	下京	西七条保育園	10増（150→160）
改修	右京	このしま保育園	10増（90→100）
分園設置	伏見	まごころ保育園	20増（60→80）
	深草	深草保育園	30増（90→120）
耐震改修	山科	柳辻保育園（25年度まで）	5増（220→225）
老朽改築 耐震化	醍醐	はなぶさ保育園	5増（180→185）
合計			135増※

※定員増の合計数は、25年度まで継続の柳辻保育園を含みません。

<公設>

区分	行政区	施設名
耐震改修	南	南保育所

## (2) 放課後児童対策の充実（新規・継続）【児童家庭課】

〔予算額 3,011,419 千円（児童館・学童保育所）、33,410 千円（放課後ほっと広場）〕  
旧伏見福祉事務所跡地を活用し、一元化児童館（学童クラブ機能を有する児童館）を1箇所整備します（仮称：伏見板橋児童館）。

また、一元化児童館等が整備されていない地域において、放課後まなび教室と学童クラブ事業を融合した「放課後ほっと広場」を新たに2箇所増設します（計9箇所）。

## (3) 国庫補助を活用した昼間里親制度の充実と設置箇所の拡大（充実）【保育課】

〔予算額 459,654 千円〕

本市独自の昼間里親制度について、国の家庭的保育事業の補助を導入し、保育の質の向上と待機児童解消のため、体制充実を図るとともに、実施箇所を拡大します。

## (4) 病児保育（病後児併設型）事業（充実）【保育課】〔予算額 31,485 千円〕

保護者が就労している場合等で、子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の医療機関による病児保育事業について、既存の病後児保育実施施設1箇所を新たに病後児併設型に転換します。

## (5) 延長保育・一時保育（充実）【保育課】〔予算額 716,836 千円〕

勤務時間の長時間化、就労形態の多様化といったニーズに対応するため、延長保育を3箇所、一時保育を2箇所、それぞれ新たに実施します

	23年度	24年度	増減
延長保育	185箇所	188箇所	+3箇所
一時保育	46箇所	48箇所	+2箇所

## (6) 子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）（充実）【児童家庭課】

〔予算額 118,930 千円〕

乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に集い、交流を図るとともに、育児相談などを行い、地域の子育て活動を支援する「子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）」を新たに3箇所で実施します。（23年度 26箇所⇒24年度 29箇所）



## (7) 子ども医療費支給制度の拡充（充実）【地域福祉課】

〔予算額 1,635,598 千円〕

小学校就学前までとなっている通院にかかる子ども医療費支給制度の対象を、今年9月から小学校卒業までに拡大するほか、訪問看護ステーションからの訪問看護利用料についての拡充も合わせて実施します。

## 3 「くらし」～子どもから高齢の方まで、障害のある方もない方も、いきいきと暮らすことができる社会をつくれます。～

### (1) 介護基盤等整備（新規）【長寿福祉課】〔予算額 1,118,400 千円〕

平成24年3月に策定した「第5期京都市民長寿すこやかプラン」に基づく介護基盤整備事業を次のとおり実施します。

#### ア 特別養護老人ホーム整備助成事業（新規）（予算額 520,100 千円）

区	施設名	定員（人）
山科	そらの木（仮称）	新設90〔短期18併設〕



イ 地域密着型特別養護老人ホーム整備助成事業（新規）（予算額 364,300 千円）

区	施設名	定員（人）
右京（京北）	豊和園サテライト（仮称）	29（短期10併設）
山科	香東園やましな（仮称）	29（短期29併設）
合計		58

※ 上記ア、イによる特別養護老人ホーム整備目標値の達成状況

23年度 5,085 人→24年度 5,233 人（プラン目標値 平成26年度 5,536 人）

ウ 介護老人保健施設整備助成事業（新規）（予算額 144,000 千円）

区	施設名	定員（人）
右京	マリアンヌ（仮称）	120
山科	香東園やましな（仮称）	120
合計		240

※ 23年度 3,882 人→24年度 4,124 人

（自主事業 2 人分を含む。）

プラン目標値 平成26年度 4,129 人）

エ 認知症高齢者グループホーム整備助成事業（新規）

（予算額 51,600 千円）

区	施設名	定員（人）
伏見	京都淀の家（仮称）	18
山科	香東園やましな（仮称）	18
合計		36

※ 23年度 1,045 人 →24年度 1,092 人

（自主事業 11 人分を含む。プラン目標値 平成26年度 1,756 人）

オ 小規模多機能型居宅介護拠点整備助成事業（新規）（予算額 38,400 千円）

区	施設名	定員（人）
伏見	京都淀の家（仮称）	25（内宿泊5）
山科	香東園やましな（仮称）	25（内宿泊9）
合計		50（内宿泊14）



地域密着型特別養護老人ホーム  
レーベン横大路外観（23年度補助事業）

(2) 地域における高齢者の居場所づくり支援事業（新規）【長寿福祉課】

〔予算額 6,600 千円〕

空き家や商店街の空き店舗等，地域の身近なスペースを活用して高齢者の居場所づくりを進める地域住民等に対し，居場所設置や運営のための経費の一部を助成します。

(3) 次期京都市障害者保健福祉推進計画の策定（新規）【障害保健福祉推進室】

〔予算額 6,008 千円〕

平成23年度に実施した「京都市障害者生活状況調査」の結果や障害者施策推進協議会等での検討を踏まえて，次期障害者施策推進プランを策定します。

(4) みやこユニバーサルデザインの推進（継続）【保健福祉総務課】

〔予算額 8,976 千円〕

平成17年4月に制定した「みやこユニバーサルデザイン推進条例」に基づき，市民，市役所等の主体的な取組を促進するための事業を引き続き行うほか，23年6月から始動した「みやこユニバーサルデザイ



みやこユニバーサルデザイン  
シンボルマーク

ン推進主任」制度を通じて、全庁的な取組の更なる推進を図ります。

#### (5) 健康づくり推進のための新たな行動指針の策定（新規）【保健医療課】

〔予算額 6,268 千円〕

京都市民健康づくりプランの計画期間終了（24年度末）に伴い、病気の有無に関わらず、すべての市民が自身の状況に応じて健康づくりを実践することができるよう、更なる取組の充実が求められる「身体活動・運動」等の分野について新たな行動指針を策定し、積極的な市民周知を図ります。

### 4 「絆」～地域で守り、地域で支える保健・医療・福祉施策を推進します。～

#### (1) 地域包括支援センター運営事業の拡充（新規）【長寿福祉課】

〔予算額 1,484,585 千円〕

高齢者が身近な地域で医療・介護・生活支援サービス等を切れ目なく一体的に受けることができる「地域包括ケアシステム」の中核機関となる市内61箇所の地域包括支援センター（愛称：高齢サポート）の人員体制の強化（各センター1名増）を図り、単身高齢者約7万世帯への訪問、相談活動等の実施により、地域の実態把握、ネットワークの構築を推進します。



高齢サポート ロゴマーク

#### (2) 成年後見制度の推進（新規）【障害保健福祉推進室、長寿福祉課】

〔予算額 19,604 千円〕

成年後見制度の利用を必要とする認知症高齢者や知的障害等のある方のサポート体制等を一層充実するため、以下の取組を行います。

##### ア 成年後見支援センターの設置

長寿すこやかセンター内に設置した「成年後見支援センター」において、市民後見人の養成や成年後見制度の利用支援を進めます。

##### イ 法人後見に対する支援

京都市社会福祉協議会による法人後見への補助を行うことで、円滑な制度利用を図ります。

##### ウ 申立費用等の本市負担対象者拡大

審判申立費用や後見人報酬の助成対象者を従前の市長申立て対象者（2親等以内に申立人がおられない方）から、本人及び親族申立ての対象者にも拡充し、経済的に困窮されている方の制度利用を進めます。



成年後見支援センター受付

#### (3) 要援護者避難支援事業（新規）【保健福祉総務課】 〔予算額 25,300 千円〕

災害時における要援護者の安否確認や避難支援活動を円滑にするため、本人の同意を得たうえで、見守り活動対象者名簿を作成し、地域包括支援センター等の関係団体に提供することにより、平常時からの地域の自主的な取組を支援します。

#### (4) 福祉避難所運営支援事業（新規）【保健福祉総務課】 〔予算額 3,100 千円〕

大規模災害が発生した場合に、災害時要援護者等の特別な配慮を要する者を受け入れる福祉避難所の事前指定を推進するとともに、その運営を円滑に行うため、運営マニュアルの作成や研修会の開催、地域住民の方々への周知を実施します。

## 5 「安心・安全」～いのちと暮らしを守るセーフティ・ネットをしっかりと構築します。～

### (1) 生活保護自立支援施策の充実（充実）【地域福祉課】〔予算額 221,700 千円〕

被保護者に対する就労支援並びに他法他施策の活用を図るとともに、精神疾患などを抱える被保護者等への日常生活・社会生活上の支援に係る以下の事業を充実又は新規に実施します。

#### ア 生活保護就労意欲喚起等支援事業の充実（160,660 千円）

福祉事務所において、被保護者の状況に合わせたきめ細やかな就労支援を実施するキャリアカウンセラーのカウンセリング実施日数（全市分）を、週 54 日から週 77 日に拡充します。

#### イ 年金検討員派遣事業の充実（56,940 千円）

年金受給資格の調査や年金裁定請求の支援を行う、年金検討員の福祉事務所への派遣について、支援対象者の多い 7 箇所について、派遣回数を週 2 回から週 3 回に拡充します。

#### ウ 生活保護心理ケア相談支援モデル事業（4,100 千円）

精神疾患等を抱える被保護者への適切な支援を実施するため、モデル事業として、市内 1 箇所の福祉事務所において、精神保健福祉士等の資格を有する者が、ケースワーカーが行う相談援助業務を支援します。



生活保護不正受給対策ポスター

### (2) 生活保護適正化推進事業（新規）【地域福祉課】

〔予算額 40,600 千円〕

生活保護不正受給対策の取組を更に推進するため、不正受給に係る専任弁護士の設置や、嘱託医の充実のほか、不正受給等適正化推進支援員を新たに設置します。

### (3) ホームレス自立支援事業の充実（充実）【地域福祉課】〔予算額 291,793 千円〕

面接・相談や緊急一時宿泊事業の利用者への居宅の確保等、ホームレスに対する必要な支援を行う自立生活推進員を 6 名から 8 名に増員し、更なる支援の充実を図ります。

### (4) 国民健康保険事業特別会計繰入金金の確保と保険料率の据置き（継続）【保険年金課】

〔予算額 7,676,500 千円〕

国民健康保険事業については、依然として厳しい本市の財政状況においても、前年度と同額の一般会計繰入金金の確保や経費の節減等を行うとともに、保険料率を前年度と同率に据え置くことで、可能な限り被保険者の負担軽減を行います。

### (5) 民間社会福祉施設への耐震アドバイザー派遣事業（新規）【保健福祉総務課】

〔予算額 4,000 千円〕

耐震に関する専門家を民間社会福祉施設に派遣し、施設に応じた耐震方法の提案等を実施することにより、耐震診断や耐震改修など施設の耐震化を促進します。



## 6 「改革と創造」～将来にわたって必要なサービスが安定的に提供されるよう、参加と協働により新しい保健福祉の在り方を追求します。～

将来にわたって安定的に保健福祉施策を推進するためには、持続可能な行財政を確立するため、新たな制度へと「改革」し、「創造」していくことが欠かせません。

このため、保健福祉局では、「はばたけ未来へ！京プラン 実施計画」に基づき、事業の充実を図るとともに、既存の事業についても、不断の点検と検証のもと、「改革」と「創造」に取り組んで参ります。

具体的には、「実施計画」改革編に掲げた下記の取組を実施するとともに、事務事業評価等も活用し、引き続き、効率的な施策・事業の運営を推進して参ります。

### <「実施計画」改革編に掲げた保健福祉局関連の取組>

#### 持続可能な行財政の確立

- 部門別定員管理計画の策定による職員数のさらなる適正化の推進
- 生活保護受給者の自立促進のための就労支援等の充実と適正な制度運営の推進
- 福祉施設への単費運営補助の見直し  
障害者が利用する共同作業所について、障害者自立支援制度上の障害福祉サービス事業所への移行を図ることで、国費等を活用するとともに、これによる本市の財政負担の軽減分を振り向け、障害があることを受け入れられないために障害福祉サービスを利用できない方等を支援する本市独自の助成事業を創設するなど、障害者福祉施設等への効果的・効率的な運営補助の検討・推進
- 緊急通報システムに係る利用者負担の公平化  
一部の利用者に偏っていた費用負担の公平化を図るため、所得階層区分の基準と区分ごとの利用料金の見直し
- 民間等への積極的な委託化の推進  
衛生環境研究所における業務の一部委託化
- 食品衛生責任者養成講習会の実施方法等の見直し
- 市税等の徴収の推進  
介護保険料徴収率，保育所保育料徴収率，国民健康保険料徴収率
- 保有資産の貸付条件の見直しや、条件付一般競争入札・プロポーザル方式等の多様で最適な売却方法の導入による資産の有効活用  
民設民営により市有地に建設された（社福）京都福祉サービス協会（本市の外郭団体）等が運営する特別養護老人ホーム及びケアハウスの土地貸付料を有償化
- 深草墓園・宝塔寺山墓地のバリアフリー化にあわせて行う新規区画の整備及び市営墓地の無縁区画の整理による新たな募集区画の創出
- 特別会計の収支の改善（医療費，介護給付費の適正化）
- 中期目標（平成23年度～平成26年度）に基づく京都市立病院機構の自律的運営の推進
- 外郭団体の改革  
（公財）京都市障害者スポーツ協会，（財）京都市健康づくり協会，（社福）京都社会福祉協会及び（社福）京都福祉サービス協会

#### 一層信頼される市役所づくりに向けた組織の改革と人材の育成

- 「安心・安全のまちづくり」を進める政策分野の体制強化  
南部地域の児童福祉の拠点としての第二児童福祉センターの設置

#### 事務事業評価を活用した大規模事業に係る重点的な点検・分析

- 下記の大規模事業について、改革の方向性に添った必要な見直しを実施  
福祉医療制度，保育所，児童館・学童保育所，高齢者福祉施設運営（洛西ふれあいの里保養研修センター，長寿すこやかセンター，老人福祉センター），敬老乗車証，障害者福祉施設運営（身体障害者福祉会館，身体障害者リハビリテーションセンター，障害者スポーツセンター），在宅自立支援給付費

その他の事業についても、不断の点検と必要な見直しを実施

## 平成24年度 保健福祉局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成24年度重点取組				平成23年度重点取組	
	取組名	目標	計画・条例等	所属等	取組名	実績
1 「いのち」 すべての市民の皆様のかげが えのない「いのち」を守ります。	1 障害者虐待防止対策事業	障害者に対する虐待の防止、早期発見、早期対応のため、支援体制の構築、市民への啓発活動を実施	障害者の虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律	障害保健福祉推進室	こんにちはプレママ事業	平成23年7月から初妊婦等に対する訪問相談を開始
	2 がん、感染症対策の充実	前立腺がん検診費用の一部公費負担開始（平成24年10月）、成人用肺炎球菌ワクチン接種費用の一部公費負担開始（平成24年10月）	京都市民健康づくりプラン	保健衛生推進室 保健医療課	働く世代への大腸がん検診推進事業	平成23年9月から、一定の節目年齢の市民に対し、大腸がん検診の無料クーポン券を配付
	3 動物愛護センター（仮称）整備事業	動物愛護センター（仮称）に係る基本設計及び実施設計	京都市動物愛護センター（仮称）構想		不妊治療助成制度の拡充	平成23年4月から特定不妊治療に対する助成を拡充（1年目の助成回数を年2回から年3回に拡充）
2 「はぐぐみ」 子どもを安心して生み、楽しく 育てることができるまちづくりを 進めます。	1 保育所整備及び整備助成	新設1箇所、増改築2箇所、分園設置2箇所、耐震改修2箇所、継続1箇所の計8箇所を整備	京都市未来こどもプラン	子育て支援部 保育課	保育所整備	新設1箇所、移転新築1箇所、増改築9箇所、分園設置5箇所の計16箇所を整備
	2 放課後児童対策の充実	・一元化児童館の整備1箇所（伏見板橋児童館（仮称）） ・「放課後ほっと広場」の2箇所増設	京都市未来こどもプラン	子育て支援部 児童家庭課	放課後の子どもの居場所づくり	・一元化児童館6箇所設置 ・放課後ほっと広場3箇所設置
	3 子ども医療費支給制度の拡充	通院医療費の支給対象を小学校就学前から小学校卒業まで拡大（平成24年9月）	京都市子ども医療費支給条例	生活福祉部 地域福祉課	第2児童福祉センター（仮称）整備	平成24年4月開所
3 「くらし」 子どもから高齢の方まで、障害 のある方もない方も、いきいきと 暮らすことができる社会をつくり ます。	1 地域における高齢者の居場所づくり	居場所設置数 110箇所	はばたけ未来へ！京プラン実施計画、第5期京都市民長寿すこやかプラン	長寿社会部 長寿福祉課	障害者職域開発推進事業	障害のある市民の職域を拡大するため、障害者雇用を進めようとする事業者に対し、「障害者雇用促進アドバイザー」の派遣等の費用を助成
	2 介護基盤等整備	・特別養護老人ホーム5,085人分 ・介護老人保健施設4,009人分 ・認知症高齢者グループホーム1,225人分	はばたけ未来へ！京プラン実施計画、第5期京都市民長寿すこやかプラン		介護保険基盤整備	・特別養護老人ホーム4,900人分 ・介護老人保健施設3,803人分 ・認知症高齢者グループホーム921人分

## 平成24年度 保健福祉局運営の総括表

基本方針・重点方針	平成24年度重点取組				平成23年度重点取組	
	取組名	目標	計画・条例等	所属等	取組名	実績
3 「くらし」 子どもから高齢の方まで、障害のある方もない方も、いきいきと暮らすことができる社会をつくります。	1	次期京都市障害保健福祉計画の策定	「支えあうまち・京のほほえみプラン」の次期計画を策定	障害者基本法	障害保健福祉推進室	—
	2	健康づくり推進のための新たな行動指針の策定	「身体活動・運動」「飲酒」等に係る行動指針の策定	京都市民健康づくりプラン	保健衛生推進室 保健医療課	
4 「絆」 地域で守り、地域で支える保健・医療・福祉施策を推進します。	1	福祉避難所運営支援事業	概ね小学校区ごとに一箇所を設置（平成27年度までに200箇所）	はばたけ未来へ！京プラン実施計画	保健福祉部 保健福祉総務課	—
	2	地域包括支援センター運営事業の拡充	地域包括支援センター相談件数 263,700件	はばたけ未来へ！京プラン実施計画、第5期京都市民長寿すこやかプラン	長寿社会部 長寿福祉課	
	3	成年後見支援制度の充実	成年後見支援センター利用者数 520人	はばたけ未来へ！京プラン実施計画、第5期京都市民長寿すこやかプラン	障害保健福祉推進室 長寿社会部長寿福祉課	
5 「安心・安全」 いのちとくらしを守るセーフティ・ネットをしっかりと構築します。	1	生活保護受給者の自立促進のための就労支援施策等の充実と適正な制度運営の推進	生活保護就労意欲喚起等支援事業等を活用し、生活保護受給者の自立を支援するとともに、不正受給対策の新たな事業展開により、生活保護の適正化をより一層徹底	—	生活福祉部 地域福祉課	市内福祉事務所に、キャリアカウンセラー14名、求人開拓員7名、年金検討員7名を配置
	2	ホームレス支援の充実	面接・相談や、居宅生活への移行支援等、自立に向けた支援を行う体制を充実	第2期京都市ホームレス自立支援等実施計画		自立に向けた職業訓練的な職を提供し、100人が就労
6 「改革と創造」 将来にわたって必要なサービスが安定的に提供されるよう、参加と協働により新しい保健福祉の在り方を追求します。	1	はばたけ未来へ！京プラン実施計画の着実な推進	計画期間（平成24年度～平成27年度）中に、計画に掲げた改革の取組に着手、推進	保健福祉局 各担当課	「子どもを共に育む京都市民憲章の実践の推進に関する条例」の推進	行動指針の策定 実践推進者表彰の実施
					第5期京都市民長寿すこやかプランの策定	平成24年3月策定